



2021年度  
しめ縄作りにて。

## 理事長あいさつ

### ～新しい幕開けに 希望の光を！～



ポカポカと暖かな陽ざしが心地よく感じられる季節になりました。

きぼうの丘学童クラブは、毎日元気いっぱい過ごしています。コロナにより私たちの生活は大きく変化しました。学校ではオンライン授業が取り入れられました。子どもたちは、興味を示しながら熱心に学んでいます。新しいものへの適応やたくましさは素晴らしいものがあり、新しい時代の始まりを感じます。

令和3年度の羽ばたきの活動は中止になったものもありますが、綿密な感染対策を行い、展開しました。事業の一部を紹介します。自然体験事業は、地域の方の協力を得ながら『とちぎの星』というお米の田植え、稲刈りを行い、美味しく食することができました。今年は白うめ塾の皆さんと一緒にできると良いですね。久しぶりのキャンプでは、それぞれ自分でテント設営をした後、カレーやサラダを作って食べました。きもだめしや花火をしたり、夏の星について学びました。興奮して疲れなかつたお子さんもいましたが『またやりたい！』という声が届いています。また、段ボールでの家作りでは、防災に役立つ空間造りの話を聞いた後、それぞれの家族で家づくりを行いました。皆さん夢中になって取り組み、素敵なお家を完成させました。このような地域に根ざした活動が評価され、日本財団の助成を受け『子ども第三の居場所コミュニティモデルの開設と運営』に取り組むことになりました。誰もが希望の持てる居場所づくりを目指していますので、今後とも皆様の温かなご協力やご支援をよろしくお願ひいたします。

# きぼうの丘学童クラブ

きぼうの丘学童クラブは「家庭でもない、学校でもない、地域の居場所を作ることを目的とし、保護者と子どもが安心できる第二の家庭として、その場を提供していく」という事を掲げて発信し、2021年の春、7年目を迎えるました。3月には2名の児童（女子2名）の卒業・巣立ちを見送りました。新1年生（12名）を迎え、新年度が始まりました。

コロナ禍中で、子どもたちもスタッフもマスクをつけての毎日。そんな生活の中で改めて気づくこともありました。『目は口ほどに物を言う』子どもたちの目の表情や、マスクの中から聞こえてくる声のトーンなど、あらゆる角度から喜怒哀楽の感情を感じることができました。子どもたちはいつも真っすぐで正直な感情を見せてくれました。

マスクを外して共に笑顔いっぱいでおしゃべりや食事ができる日常を思い描き、スタッフ一同

「子どもたちと一緒にコロナ禍の今を乗り切っていこう！」と強く思います。

## ★はるやすみ★



## 希望の丘政策…木登り大好き♥



ミニ運動会  
体も頭脳もたくさん  
使いました。

新入生歓迎会&  
手づくりランチ  
…おいしい♪

## ☆なつやすみ☆



暑い夏。水遊びは最高!!



遠足はツインリンクに。  
暑かつたけど、楽しかったよね。



がんばりました。書道!



こどもまつり。  
何で遊ぼうかな?  
準備も自分たちで  
しました。

毎週金曜の手づくりランチ。  
お弁当作りしました。  
上手でしょう。



## ☆ふゆやすみ☆



新春お楽しみ会。  
1番GET♪



お餅焼いたり。  
外で満喫。  
テントの中から  
こんにちは。

私たちスタッフは楽しい時間はもとより、日常のあらゆるトラブルや問題もひとりひとりに寄り添って、信頼関係を築き、優しさと厳しさをもって子どもたちとすごしています。また、小学校の先生方との情報交換を深め、子どもたちのより良い育成のために絆を強めています。

恵まれた里山の環境の中で、地域の皆様のご協力をいただきながら、今年度も精いっぱい頑張ってまいります。

# 子どもと地域を元気にする自然体験活動

春

## 種まき・田植え・筍ほり

家族で力を合わせて筍堀り！

2020年の田植えは緊急事態宣言のため、機械化による田植えが実現できませんでした。2021年度は総勢40名の田植えでした。

夏

## ホタル観察会・キャンプ

幻想的な初夏の時間 ホタル観察会

グラウンドでテントを張るのは2回目になりますが、みんなで協力しながら、テント泊ができました。子ども達の自主性や頑張り精神を育んでいきたいですね。

秋

## 稲刈り・段ボール・収穫祭

大きなコンバインに乗らせてもらって大満足！鎌も上手に使えるようになったね稲刈り

世界で1つだけの僕のお家ができました。段ボールのプライベート空間を体験しました♪

収穫祭では白うめ塾のお友達も参加して、グループに分かれての豚汁づくりであつという間の一日でした。

冬

## しめ縄づくり・落ち葉プール

毎年恒例のしめ縄づくり、続谷地区の町井さん・大瀧さんが熱心に教えてくださいました。子ども達も熱心に作業を進めていました。

寒さに負けず落ち葉へダイブ！焼きおにぎりや焼き芋おいしかったね

落ち葉の中は暖かくて気持ちいいよ

# 市貝町ファミリーサポートセンター事業

市貝町の子育て施策、子ども子育て支援事業計画の基本理念に「みんなで支え合い地域の力でつくる人にやさしいまちいかい」とあります。その言葉の通り、ファミリーサポートセンター事業は市貝町で子育てをする世代と地域住民の助け合いによって成り立つ相互援助活動です。

コロナ禍も2年が過ぎ、ワクチン接種が進んだり、感染予防対策が明確に示されるようになりました。市貝町ファミリーサポートセンターでは6月、9月と提供会員養成講座を開催し、2名の方が講座を終了されました。その他、現会員のフォローアップを同講座で開催し、多くの方にご参加いただきました。市貝町の子育てを支えてくださる方が、一人でも多く、提供会員登録していただけるよう、事務局も務めていきたいと思っています。そして、子育てにはたくさんの「手」が必要です。「手」を貸してほしいと、気軽に言える関係づくりや、利用会員の募集も進めていきたいと考えています。

まだまだ、ファミリーサポートの定着には周知が足りないところがありますので、今後も町広報誌やHPを活用しながら、情報発信に努めていきたいです。



2021養成講座



2022年度養成講座

春6月18日・19日(2日間)  
秋9月27日・10月5日・11日・18日(午前中のみ4日間)  
交流会10月10日

# つながることを、あきらめない学習支援

## 2021年度 2年目スタートする。

2020年8月からスタートした学習支援が今期で3年目に入ろうとしています。新型コロナウイルス感染拡大防止に努め、緊急事態宣言中は開催見合わせる時期もありましたが、できる限り、子ども達や保護者の方々の開催を望む声に寄り添っていきたいとの思いから、サポートしてくださった花王株式会社、社員の方々。地域の社会人や学生の皆さんとの協力を得ながら2021年度は継続して、開催することができました。休憩時間には軽食をいただきたり、学校でのことをおしゃべりしたりと、子どもたちもリラックスしながら、参加してくれました。あゆみは少しずつかもしれません、小さな「できた！」を積み重ねて、自信につなげてほしいと思っています。

子ども達の学習をサポートしてくださっている角尾（かくお）さんにインタビューしました！

### ▶ 支援を始めるきっかけは？

ワークショップ講習会の講師の方から長野さんをご紹介いただき、まずは地域の現状を知ろうと思ったことから。

そのうちに自分も何かできないかと思うようになり、学習支援にお誘いいただいた。

### ▶ 実際学習支援に参加してみて、どう思いましたか？

最初は集中できない子、基本的な問題もできない子もいて大変だと思ったが、実はちゃんと教えられていないだけだったり、だから興味を持てていないだけだったりということに気づいた。みんな色々なことに興味、関心があるし、その内容は普通の大人は社会に出ても必要性を感じないものでも、研究者視点では実はとても大事なこともあったり、いい意味で子供はみんな同じでまだ余白があるなど。

### ▶ 子ども達と関わるために、ご自身の変化はありましたか？

とにかく自分は楽しませてもらっています。子供達と話すのは素直に楽しいし、刺激ももらえる。

### ▶ 角尾さんから見た子ども達の変化や全体の様子など、何かあれば教えてください。

子供達はかなり初期に比べると集中してできるようになっているし、我々大人とのコミュニケーションも上手に取れるようになっていて。もちろん私自身が彼らの普段の会話では必要なさそうなこともわからないふりをして聞いているのもありますが、週1度でも変わるものなのだと。親御さんにも「わかっているでしょ」と思って言わない、お子さんの言葉が足りないときも、親が自分の想像で足りないものを埋めるのを、ちょっとだけやめてもらえると、もしかすると今までわかつっていたつもりだった我が子の新しい一面に触れられるかもしれないで、ぜひ家庭でも異文化コミュニケーションだと思ってやっていただければと思います。

2022年も行政、学校、地域との連携を図りながら、事業展開できるよう努力していきます。

より多くの方にこの活動を知っていただき、ご賛同いただけるよう、情報発信も合わせて、おこなっていきたいと思っています。



中央公民館での様子  
休憩時間にカードゲーム



全農さまより牛乳いただきました。

### 2021年度の活動

全33回開催

登録数13名

延べ参加者数204名(3/15現在)

センター 3名

スタッフ 4名

場所

旧小貝中央小 多目的ルーム

中央公民館 204号室

サシバ未来館 多世代交流室

### 助成金・寄付

とちぎコープさま

赤い羽根市貝支部会さま

木村のかきもちさま（おかき）

全農さま（牛乳）

波里さま（団子粉）

羽ばたき賛助会員さま

多くのご支援ありがとうございました。

# 羽ばたきサロン



2021年7月17日  
ちびっ子輪おり講座体験  
みんな好きな色の麻糸で、織りました。



2022年3月5日  
鹿皮クラフトサロン  
「鳥獣被害から探る命のあり方」  
講師に「須藤幸嘉氏」をお迎えして、  
自然環境を学びながら、鹿革で  
パスケースを作りました。



2021年度から始まったサロン活動。  
サークル活動やこれから講師として活動したい  
先生たちの活動の場。  
地域の方々との交流の場。  
さて、2022年度もどんなことが体験できるかな。

# 今年もあたらしいこと、

始まります...始めます...



日本財団「子ども第三の居場所」拠点事業、コミュニティモデルに応募申請し、2022年度から3年間の採択をいただくことができました。日本財団の、子どもたちが安心して過ごせる環境で、自己肯定感、人や社会と関わる力、生活習慣、学習習慣など、将来の自立に向けて生き抜く力を全国に広げるとの理念のもと、私たちは地域の力を借りながら、8年間積み上げてきた、地域づくり、子育て支援を基盤にして、羽ばたきの、子ども第3の居場所を今秋のオープンを目指し、展開してまいります。今後とも、多くの方のご支援を賜りますようお願いいたします。

たくさんのご寄付・ご協力ありがとうございました。

賛助会員のみなさま

小林清美 岡田幹雄 松枝由香里  
太田徹 高木電気商会

(敬称略)  
(順不同)

特定非営利活動法人 いちかい子育てネット羽ばたき

〒321-3404 市貝町続谷1143-3 旧小貝中央小学校内1階  
携帯TEL \* 090-3533-6521  
FAX \* 0285-81-7077  
メール \* [habataki\\_ichikai\\_0\\_100@yahoo.co.jp](mailto:habataki_ichikai_0_100@yahoo.co.jp)  
HP \* [i-habataki.org](http://i-habataki.org)



NPO法人いちかい子育てネット  
**羽ばたき**